

第6学年 「特別の教科 道徳」学習指導案

1 主題名

「誠実に生きる」A 正直、誠実

2 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

指導内容の「系統性」

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年	第7・8・9学年
うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	過ちを素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	誠実に、明るい心で生活すること。	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

第1学年及び第2学年では、自分自身の言動を他者から叱られたり笑われたりすることから逃れようとする気持ちが働き、うそを言ったりごまかしをしたりして暗い心になることがある。いけないことをしたときには素直に非を認め、謝ることができるとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないようにし、正直で素直に伸び伸びと生活できる態度を養うようにすることが求められる。

第3学年及び第4学年では、他者に対してうそを言ったりごまかしをしたりしないことに加えて、そのことが自分自身をも偽ることにつながることに気付かせ、その上で、正直であることの快適さを自覚できるようにすることが大切であり、過ちを犯したときには素直に反省し、そのことを正直に伝えるなどして改めようとする気持ちを育むことも求められる。

第5学年及び第6学年では、自分自身に対する誠実さが一層求められる。特にその誠実さが自分の内面を満たすだけでなく、例えば、他の人の受け止めに過度に意識することなく、自分自身に誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。




中学部では、自己の気高さに気付かせ、何が正しく、何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動をとれるようにすることが大切である。日常のどのような小さな行為においても、自ら考え、判断し、自分の自由な意思に基づいて決定し、それに対して責任をもたなければならないことを実感させる必要がある。そうした経験を通し、失敗も含めて自己の責任においての結果を受け止めることができるようになる。

3 教材名 「手品師」

4 ねらい 自分自身が誠実に生きようとすることの大切さに気付き、常に誠実に行動し、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

5 本時

(1) ICT活用

学習場面	導入	展開	終末
学習活動	内容を共有する	考えを広げる・深める	自己について問い直す
タブレットPC	<ul style="list-style-type: none"> 教材への理解を助ける 	<ul style="list-style-type: none"> 教材提示 個々の考えを共有し、多面的・多角的に考えを広げる。  	

(2) 展 開

	学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
導 入	<p>1 事前アンケートの結果を知り、誠実について考える。</p> <p>○「誠実に生きる」とは、どういうことなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違っただけで済んだら、きちんと相手に謝ること。 ・ごまかしたり、うそをついたりしないこと。 ・間違っただけで済んだときに、素直に反省すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用 事前アンケートの結果を提示することでねらいとする道徳的価値についての課題意識をもたせる。 ・道徳的価値について、自分の生活と照らし合わせて考えられるようにするために学習問題を設定する。
	<div>「誠実に生きること」について考えよう。</div>	
展 開	<p>2 教材「手品師」を読んで話し合う。</p> <p>○男の子に「きつとさ。きつと来るよ。」と答えたとき、手品師はどのような気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに喜んでくれて嬉しい。 ・どうせ暇なのだから。 ・男の子がかわいそうだ。喜ばせてあげたい。 <p>○迷いに迷ってしまった手品師はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢をかなえたい。 ・こんなチャンスは二度とない。 ・男の子との約束を破ったら、男の子は悲しむだろう。 <p>◎たった一人のお客さまの前で、手品師はどんな気持ちで手品を演じていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子が喜んでくれている。 ・これが自分の気持ちだ。 ・男の子に手品を見せられてよかった。後悔していただろう。 ・目の前にいる観客を大切にしていこう。そこから、大劇場のステージにつながっているんだ。 ・今頃、劇場はどうなっているかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用 教材提示する。 ・ICT活用 タブレットPCで一人一人の思考を視覚的に明らかにしながら話し合う。 ・自分の下した決断に満足する手品師の気持ちを考えさせる。 ・誠実に行動しないと他者の信頼を失うばかりか自分自身の中での後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じることに気付かせる。その上で「誠実に生きること」について考えさせる。
	<p>3 自己の振り返りをする。</p> <p>○今のみなさんに照らして「誠実に生きる」とは、どういうことなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誠実に生きることは、周りの人の信頼されることにつながり明るい気持ちで生活することができる。 ・誠実に生きれば、後悔することがなく、悩むこともない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用 誠実に行動したときのすがすがしさについて思い出すとともに、誠実に行動できなかったときの情けない気持ちについても気付くようにする。〈問い直し〉 ★誠実に行動することの大切さについて自己を見つめている。
終 末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	